

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4670103904 |
| 法人名 | 有限会社 ドリーム・ミソノ |
| 事業所名 | グループホーム 紫原 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34番31号 (電話) 099-250-2643 |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月12日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成27年9月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高台に有り、春になると桜並木がとても綺麗です。
近所に公園や学校、医療機関があり、大きな道路から少し入ったところにあるため、とても静かで、恵まれた環境に作られたホームです。
・近くの学校の職場体験を受け入れたり、地域の文化祭や夏祭り・運動会の見学を行うなど地域との交流を行っております。
・入居者には、できるだけ入居前と変わらない生活スタイルを送っていただきたいため、ご自宅で使用していた家具をお持ち頂くことをお勧めしています。
・入居者が日々、楽しく、有意義に生活できるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は町内会に加入し地域の文化祭や夏祭り・小学校の運動会への見物等に出かけ地域との交流を図っている。中学生の職場体験学習やボランティアの訪問も受け入れている。散歩での挨拶や地域の住民が相談に来所される等、日常的に交流している。
・口腔ケアには特に力をいれており、口腔ケア教室の効果で飲み込む力や食事量が増え摂取可能となった事例がある。
・身体拘束について年1回の勉強会や2ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会で事例を出して身体拘束について研鑽を行っている。
・年2回昼夜間の火災避難訓練と地震の避難訓練を消防署の指導のもと行っている。心肺蘇生法についても研修を受けている。非常災害対策については消防計画を作り、防火管理者を決め、災害自動通報装置の点検や非常時に備え、水や缶詰・インスタント食品・防災グッズなどを備蓄している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 毎朝申し送り後に唱和し、業務に繋がるように意識付けを行なっている。理念に基づき、口腔ケア教室の実施、地域の行事の参加などを行なっている。 | 理念はホールの見やすい場所に掲示し、毎朝申し送り後に唱和を行い、職員全員が理念を共有し日々のサービス提供につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 町内会に加入し、地域の文化祭や夏祭り・運動会の見学を行う事や、学生の職場体験の受け入れを行うなど、地域との交流を行なっている。 | 町内会に加入し地域の文化祭や夏祭り・小学校の運動会への見物等に出かけ地域との交流を図っている。中学生の職場体験学習やボランティアの訪問も受け入れている。散歩での挨拶や地域の住民が相談に来所される等、日常的に交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 施設見学や入居希望者が来られた際に施設等の内容や認知症の方への対応等細かく説明するなど、地域への貢献に励んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>ご家族・民生委員・長寿あんしん相談センターの職員に出席していただき、意見や要望を聞き入れサービスの向上に努めている。</p> | <p>定期的に会議を開催している。ホームの現状や事業所の計画・達成度などの状況や法改正について・外部評価の報告等、情報交換をして参加者に意見を貰い運営に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>市の介護相談員の受け入れや長寿あんしん相談センターの職員へ運営推進会議に参加していただき、実情やサービスの取り組み等公表し情報交換の機会を作っている。</p> | <p>市担当者とは直接、書類提出に行ったり、状況報告を電話やメールで行っている。長寿あんしん相談センター職員とは常に情報交換し協力関係にある。行政主催の研修会等へ参加している。年1回介護相談員も受け入れアドバイスを貰っている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>2ヶ月に1回ミーティング時に身体拘束廃止委員会を開き、職員間の意識付けを行っている。また、毎年の研修として身体拘束について勉強会を行っている。</p> | <p>身体拘束について年1回の勉強会や2ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会で「身体拘束廃止マニュアル」に沿って、事例を出して身体拘束について研鑽を行っている。内部・外部の研修にも積極的に参加している。日中は玄関の鍵はせずに自由に出入りできるようにしている。外出したい利用者には職員が付き添いさりげない支援をしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待について研修を行い、常に日頃から職員間で意識し合っている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>ミーティング時に権利擁護や成年後見制度についての研修を行い、必要な入居者への支援を行っている。</p> <p>また、日常生活自立支援事業や成年後見制度について、説明が行えるように資料を準備している。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>入居時、ご家族へ契約書・重要事項説明書に沿って十分な説明を行い、疑問点や質問にもお答えしている。</p> <p>また、入居前にはご本人を含めて見学をして頂く等、納得していただいでから契約に繋げている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>日頃の日常生活の中で入居者やご家族から意見や要望などを聞いたり、運営推進会議でアンケートや要望を頂き運営に反映させている。</p> | <p>利用者と話す時間をできるだけつくる努力をして、日常の会話から意見や希望をくみ取っている。家族からは面会や電話で医療機関の受診や生活状況等の報告を行い意見などを聞いている。クリスマス会をかねて家族会を行ったり、アンケートで要望を聞き、運営に反映させている。遠方の家族には、電話や月1回のお知らせと一緒にアンケート用紙も同封し、意見を言える機会を設けている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>日頃の日常生活の中や毎日の申し送り時や月一回のミーティング時に意見を聞き、反映させている。</p> | <p>管理者は毎日の申し送り時や月1回のミーティング時に意見や提案を聞いている。職員全員が意見を言える環境作りを心がけコミュニケーションを図っている。必要時個人面談で適切なアドバイスを行っている。資格取得について積極的に支援をしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>資格取得による手当の支給や実績による評価をしていただく等、向上心を持って働くことができるように努めている。また、試験対策研修等の参加の呼びかけを行っている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>ミーティング時に職員が持ち回りで様々な研修内容の資料を準備し勉強会を行なっている。また、外部研修の案内を掲示し、参加の機会を作っている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>外部研修の機会を作ることで、同業者との交流を図りサービスの質の向上に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービスの利用を開始する段階で、ご本人へ要望等をお聞きし、また、情報提供書等の資料にてしっかり内容を確認した上で、ホームでの安心した生活を送れるよう信頼関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | サービスの利用を開始する段階で、ご家族へ要望等をお聞きし、コミュニケーションをしっかりと図り信頼関係づくりに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居者の日常の心身の状態観察やスタッフ間の情報・意見交換等の中で、何らかのサービスが必要と判断した場合は、ご本人・ご家族へ確認した上でサービスを開始するよう努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 台拭きやお盆拭き、洗濯物干しやたたみ、床の拭き掃除など生活する上で入居者にできることを職員と一緒にやるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 職員は、ご家族が面会や行事等に参加していただき、入居者との関係性が良好に保てるよう努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会の時等、ゆっくりと話をしたり、寛げるよう環境作りに努めている。定期的に外出される方へは、家族にも労いの声掛けをし、一緒に楽しい時間を作って頂けるようにお話をしている。 | 馴染みの関係継続について把握している。職員とドライブして馴染みの場所に行ったり、友人などにはがきを出す手助けをしている。毎日のように面会がある。家族と行きつけの美容院や食事・買い物・墓参りなどに行ったり、家族と盆や正月は外泊している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係や状態、生活リズムを把握し、座席などを考慮した支援を行っている。月行事など一階・二階の交流を行える機会を作り、利用者同士が関わり合える様、配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居されたご家族へも連絡を行い、近況を尋ね、場合によっては相談などを行なっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 毎日の生活の中で、本人の思いや行動、今まで暮らしてきた生活歴を尊重しながら気持ちに添えるように支援している。自分で意思表示が困難な方は、表情や言動をくみ取り接している。 | 思いや意向を日常の会話や表情から汲み取ったり、家族などからも自宅での今までの生活歴を聞いたりして情報収集している。意思疎通が困難な利用者には家族に聞いたりして、利用者本位に支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族よりこれまでの生活内容をお聞きし、本人のペースに合わせた生活が送れるように支援している。また、今まで使い慣れた家具や、個人の思い出のあるもの（写真・仏壇）等を持ってきて置いている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの心身状況や有する能力を把握した上で、それぞれの残存機能を活かした生活が送れるよう努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居者やご家族の希望に添えるよう、カンファレンスやミーティング時に意見交換を行い、サービスの向上に努めている。 | 本人や家族と話し合い、職員で意見交換をし介護計画を作成している。モニタリングは毎月、6ヶ月に1回の見直しや状況変化があった時は、その都度見直しを行っている。家族には説明し、県外の家族には郵送し捺印をもらっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子をしっかりと記録に残し、特記事項等は毎朝の申し送り時に情報を共有し、介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者のニーズや家族の希望に対応できるように、訪問美容、訪問歯科、訪問マッサージ、訪問鍼灸の活用、介護タクシーの紹介等、柔軟な支援が行えるように、サービスの多機能化に取り組んでいる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域での行事に参加し、近くの公園へ散歩や花見などに行くことや、避難訓練を実施する際は、近隣に書類にてお知らせすることで、地域の中で安全に充実した暮らしを楽しむことができるように努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人及び家族の希望に合わせたかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるように支援をしている。 状態・症状に合わせ、家族に報告・相談し専門医を受診して頂いている。 | 利用者や家族の希望を聞きかかりつけ医への受診を支援している。医療機関受診は、家族が行けない場合は、職員が同行している。受診後、家族に詳しく報告している。適切な医療が受けられるよう支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>専任の看護師はいないが、資格を持った介護職員がいる為、状態の変化に早めに気づくことができ適切な受診が受けられるように支援している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時は、口頭や文書にて本人の状態や経過を報告している。また、入院中も週単位で経過を確認し、長期入院の際は管理者か他の職員がお見舞いに伺い、本人・病院関係者と情報交換を行なっている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>入居者の状態によっては早めにご家族、主治医、職員間で話し合いを行い、ご家族の納得のいくよう説明をしっかりと行いながら支援を行なっている。</p> | <p>重度化や終末期について入居時に「重度化や終末期に伴う対応の介護指針」について説明をしている。状態変化に伴い段階的に、家族や主治医・職員間で話し合い支援を行っている。ターミナルケアの対応事例がある。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>年に一度の救急蘇生法の講習や事故発生時の対応については毎月の研修等で勉強会を行い、スムーズに行えるようマニュアルを作成し緊急時に備えている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回の夜間と昼間の火災避難訓練と地震の避難訓練を行なっている。</p> <p>また、近所へも事前に連絡し協力を求めている。</p> <p>水や防災グッズ・担架をわかりやすい場所に設置している。</p> | <p>年2回昼夜間の火災避難訓練と地震の避難訓練を消防署の指導のもとに行っている。心肺蘇生法についても研修を受けている。非常災害対策については消防計画を作り、防火管理者を決めている。災害自動通報装置の点検や非常時に備え、水や缶詰・インスタント食品・防災グッズなどを備蓄している。地域へ協力依頼を行っている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入居者を人生の先輩として尊敬し、プライバシーを損ねないように個々に応じた言葉かけやノックをしてからの居室やトイレへの訪室を心掛けている。 | 一人ひとりの尊厳を守り丁寧なケアに努めている。特に言葉かけには馴れ合いにならないように注意している。居室やトイレはプライバシーの確保ができるように配慮している。年1回人権について勉強会をしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々生活の中で入居者とのコミュニケーションを図り、気軽に思いや希望を伝える関係性を築けるように努めている。また、自ら思いを伝えることが難しい方については、生活歴や嗜好を把握し希望に添えるように努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者一人ひとりのペースに合わせ、できるだけ入居者の希望に添った支援を心掛けている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 本人の希望に合わせて衣類を選んだり、更衣ができるように支援している。希望により、訪問美容の利用や家族と美容院に出かけることができるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>野菜の皮むき等や台拭き・食器洗い等、それぞれ入居者の力に合わせて職員と一緒にしている。</p> | <p>旬の野菜などを使ったり、行事食に力を入れ楽しめるように工夫をこらしている。誕生日会の際は手作りケーキを作ったり、ソープ流しなど外食も家族や職員と一緒にしている。口腔ケア教室の効果で飲み込む力や食事量が増え摂取可能となった事例がある。利用者の力量に応じて食材の準備や食後の洗い物も職員と一緒にしている。</p> | |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>一日の食事・水分の摂取量を記録し把握に努めている。水分摂取量が少ない方には、ご家族と協力して好みの飲み物やゼリー等を準備し摂取していただくよう支援している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>毎食後職員による仕上げ磨きを行い、入居者がいつまでも美味しく食べられるよう支援している。また、年に一回口腔ケア教室を行い、歯磨きの仕方等を教わっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うことで自然排泄を促している。また、下剤調整を行いトイレでの排泄ができるよう支援している。 | 日常の排泄パターンを記録しタイミングを計りトイレに誘導している。2人介助で行う場合もある。おむつを減らす努力をして改善のケースがある。失禁時は声かけに留意し、居室で更衣の支援をしている。男子・女子トイレがある。日中のオムツ使用は改善され、リハビリパンツやパットを使用している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘の予防として多くの水分摂取を促し、なるべく体を動かす機会を作るようにしている。また、毎朝のお茶の時間には自家製のヨーグルトをお出しし食べて頂いている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴は基本的に曜日を一人ひとり決めているが、個々の状況に応じて時間や曜日の変更を行っている。また、その日の体調などを考慮し、支援を行っている。 | 入浴は基本的に週3回であるが希望に応じて対応している。菖蒲湯やゆず湯も楽しんでいる。個別に入浴剤を使うときがある。入浴を拒む利用者もいるが職員を変えたり言葉かけの工夫をして対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣や体調によって入眠時間を調整したり、休息を促したりしている。また、居室の室温や明るさなどの調整を行い、安眠を促している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>服薬準備は、2名の職員で必ずチェックし、チェック表に記入している。服薬後も同じく2名の職員で必ずチェックし、チェック表に記入することで誤薬しないように努めている。また、薬の管理指導は担当薬局の薬剤師に指導頂いている。薬剤師と連携を図り、情報共有を行い、服薬変更時など必要に応じて相談を行っている。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | <p>歌や塗り絵等それぞれが好きな事で日々を過ごしたり、外出する機会を作って気分転換を図る等支援している。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>一人ひとりのその日の希望に沿った外出は不十分であるが、できるだけ行うことができるように努めている。年間行事計画を立て、外食したり、戸外でお弁当を食べたりするなどの外出支援を行っている。また、家族の面会時に外出・外泊の機会が図れるように、支援・働きかけを行っている。</p> | <p>日常的に近隣の散歩を行っている。家族の協力を得て毎月の墓参り、買い物や外食、お盆や正月に外泊などの支援を行っている。ホームの年間行事でも外食や法人の車でコスモスや桜の花見・ソーメン流し・ドライブなどに出かけている。地域の行事などにも見物に出かけている。希望に沿ってできるだけ外出ができるようにしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>お金は基本個人では管理しないようにしており、買い物等ほしいものがある場合はご家族に相談し購入していただくか職員の方で購入するように支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>希望に応じ電話をかけたり、お盆やお正月等ご家族へお手紙を書くことができるように支援している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>室内の温湿度に常に注意し、冷暖房の調整やカーテンの開閉を行い、入居者が過ごしやすい環境を整えるよう心掛けている。また、季節感を出す為、七夕飾りやクリスマスツリー等、入居者と共に飾り付けたりして居心地良い空間作りに努めている。</p> | <p>ホールはエアコンや自然の風を入れて換気したり湿度や温度の調整もこまめに行われている。行事のスナップ写真やコスモスの花のちぎり絵などが飾ってあり、すすきが活けてあり、ホールからキッチンが見えて生活や季節を感じられるよう工夫されている。ソファも多く設置されている。パブリックコーナーがあり、家族が面会の時はゆっくり話ができ、くつろぐことができる。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>入居者の相性や体調・歩行状態などを考慮して、机の位置や座席を決めている。また、ゆっくりくつろいでテレビを観たりできるようにソファを配置したり、玄関口にはベンチを置いて涼む事ができるように支援している。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室には、本人の使い慣れた馴染みの家具や小物を置いていただき、居心地よく過ごせるよう支援している。また、季節の変わり目にはご家族に衣類や布団などの衣替え・整理を依頼している。</p> | <p>居室は洗面台や整理ダンスが設置され、ベッドは身体機能に応じたものをリースしている。好みの寝具類や位牌・思い出の写真などを持ち込む等、居心地よく過ごせるよう工夫されている。施設で作成した手づくりの物なども飾られている。本人や家族と話し合い季節の衣替えや配置替えなどもしている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>廊下やトイレ・浴室には手すりを設置し、自立歩行や掴まり立ちができるよう支援している。また、居室やトイレ・浴室の入り口には、名札などを張りわかりやすいように工夫している。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | ○ | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | ○ | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |